

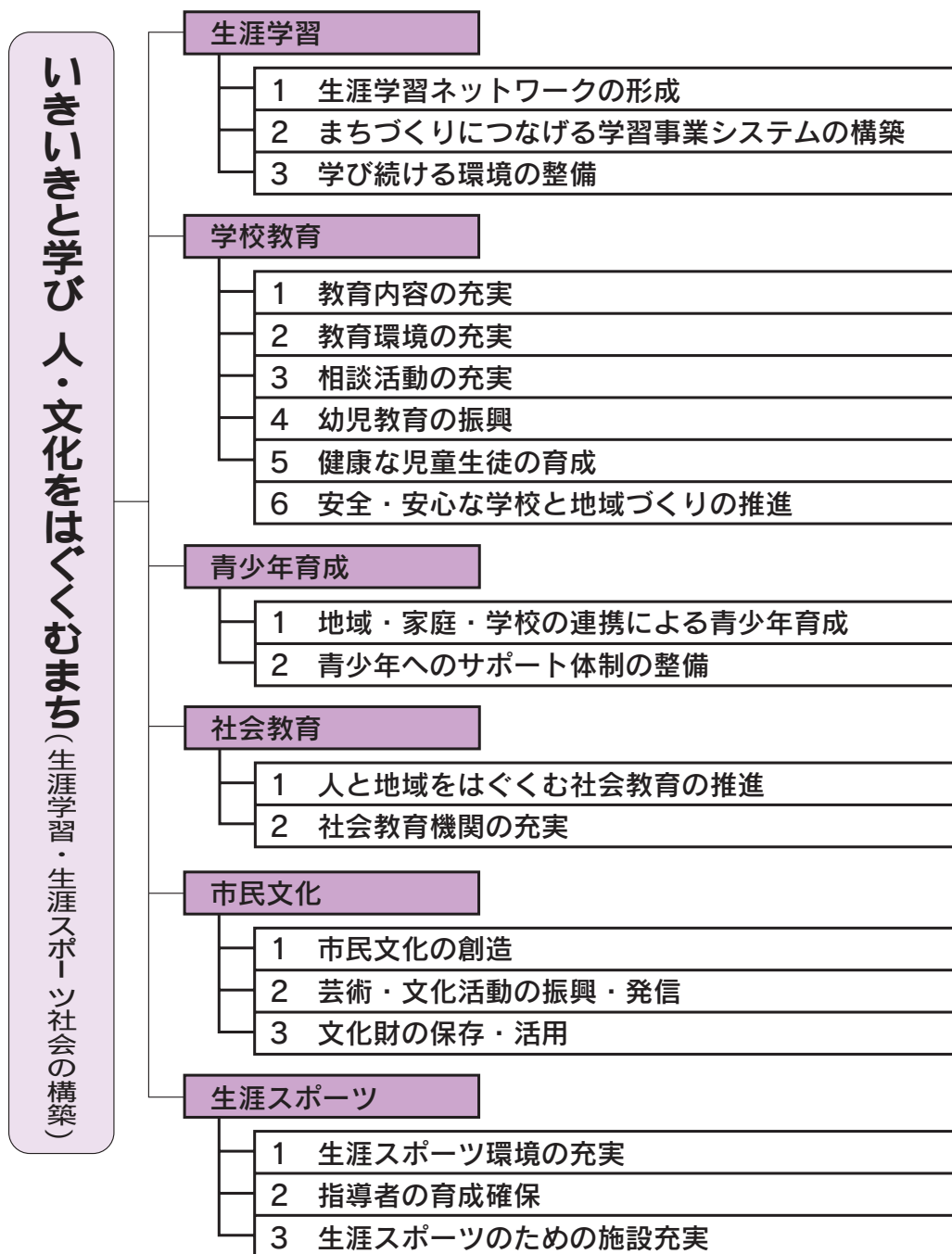
第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち

～生涯学習・生涯スポーツ社会の構築～

本市ではこれまで、市民が「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学べる生涯学習・生涯スポーツ社会の構築をめざして、さまざまな事業に取り組んできました。近年の高齢化や少子化など急激な社会構造の変化にともない、こうした取り組みの果たす役割は、地域づくりを進める上でより一層重要性を増しています。

今後は、これまでの事業の成果や生涯学習ネットワークを基盤として、生涯学習の重要な基礎となる学校教育の一層の充実をめざすとともに、市民が共に学びあい支えあう生涯学習・生涯スポーツ社会の実現に向けて着実に取り組みを進めます。

施策の体系



今後、5年間に重点的に取り組む事業

事業名	事業概要	事業費
校舎等大規模改修事業 〔耐震補強事業〕 (教育施設課)	新耐震設計基準 [*] が適用される以前の学校施設を対象に、児童・生徒の安全確保をはじめ、災害時の一時避難場所としての機能を高めるため、建物の耐震化を計画的に進めます。	百万円 1,914
	事業期間 平成8年度～(継続事業)	
生涯学習施設整備事業 (生涯学習センター、図書館)	長年にわたり市民要望の高かった、中央公民館、新所沢公民館、新所沢東公民館の増改築を計画的に進め、その機能を充実させることにより、利用者や利用層の拡大につとめます。	百万円 7,300
	事業期間 平成18年度～平成22年度(新規事業)	
安全・安心な学校と地域づくり推進事業 (学校教育課、教育施設課)	学校と地域が連携した危機管理体制を整え、学校内での事件や事故を防止するとともに、学校を取り巻く地域の防犯体制を強化し、安全で安心できる学校と地域を構築します。	百万円 81
	事業期間 平成17年度～(継続事業)	
博物館設置推進事業 (社会教育課)	子どもから大人まで幅広い世代の市民参加により、「ふるさと所沢」の自然・歴史・芸術・文化・産業など、さまざまな分野での研究活動や資料を蓄積し、生涯学習推進とまちづくりに寄与する博物館の設置を進めます。 設置規模、場所等が未定のため、ワークショップ開催などの博物館活動事業費と調査活動費等を掲載しています。	百万円 7
	事業期間 平成7年度～平成22年度(継続事業)	

※事業費は5年間の概算予算額で、財政状況によって変動する場合があります。

分野別の主な計画

計画の名称	計画の内容	ページ
第3次所沢市生涯学習推進計画 (生涯学習センター)	市民の学習成果がまちづくりに活かされ、さらに市民と行政との協働による「生涯学習によるまちづくり」が発展していくための方針を定めた計画です。	P58～59 1節「生涯学習」
	計画期間 平成18(2006)年度～22(2010)年度の5年	
所沢市スポーツ振興計画 (生涯スポーツ課)	市民が生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を通じて、健康で文化的な生活を営み、豊かな人間関係を培っていくことで本市のまちづくりに寄与できる「生涯スポーツ社会の実現」をめざすための取り組みを定めた計画です。	P70～71 6節「生涯スポーツ」
	計画期間 平成18(2006)年度～27(2015)年度の10年	

^{*}新耐震設計基準……1978年の宮城県沖地震による建物の被害を受けて、1981年6月、建築基準法の改正により新たに示された基準。新耐震設計基準による建物は、阪神大震災においても被害が少なかったとされており、その耐震基準は概ね妥当であると考えられている。

第1節 生涯学習

現況と課題

◆現況

本格的な少子高齢社会の到来とともに、健康で快適な生活や心豊かな生活を創造するため、市民の学習活動はたいへん活発になっています。

本市では、生涯学習センターや地区公民館を中心に、学習の機会や場の提供をはじめ、さまざまなメディアと人を活用した情報提供・学習相談などを通じて、市民の主体的な学習活動を支援しています。

【主な取り組み】

- 「第3次所沢市生涯学習推進計画」を市民との協働により、平成18(2006)年3月に策定しました。
- 生涯学習ホームページや情報紙「翔びたつひろば」等により、学習情報の提供につとめています。
- 市民の豊かな能力や技術、ノウハウなどの資源を学習活動に活かすため、人材バンクの活用をはかっています。平成17(2005)年度の登録数は188件でした。
- 市内高等教育機関との連携により、より質の高い学習機会の拡充につとめています。
- 広く市民に行政情報を提供するため、職員による出前講座を実施しています。平成17(2005)年度の講座メニューは86講座でした。

◆課題

- 生涯学習センターを中心とした、生涯学習ネットワークづくり
- 豊富なスキルやノウハウを持つ退職者への地域参加の機会提供
- 企業、関係団体、NPO、地域住民等との間の連携強化
- 市民の学習成果をまちづくりに活かす仕組みづくり
- IT^{*}などを活用し、より多くの人々が学習活動に参加できる環境づくり
- 少子高齢化や核家族化の進行などに伴う「現代的課題」についての学習支援
- 総合行政としての生涯学習を推進するための環境整備

基本方針

- 学習情報の収集、提供を充実し、より多くの人々が主体的に学習活動に参加できる環境を整えます。
- 市民の学習成果を地域づくり・まちづくりに活かす取り組みを進めます。
- 生涯学習推進のための環境や関連施設を整備・充実します。
- ITなどを利用し、「いつでも、どこでも、だれでも」情報を収集し、学習活動を行える仕組みづくりを進めます。

	H15	H10
非常に満足	1.9	1.0
どちらかといえば満足	7.8	6.0
普通である	40.6	40.3
どちらかといえば不満足	8.0	17.7
非常に不満足	3.3	8.0
わからない・無回答	38.4	27.0

出典：市民意識調査(H15)



地域での世代交流による学習活動(柳瀬わんぱく広場)

計 画

1. 生涯学習ネットワークの形成

- (1) 情報ネットワークシステムの形成・充実
生涯学習に関する総合的な情報システム形成を進めるために、さまざまな機関で実施されている生涯学習関連事業や学習の場をわかりやすく市民に情報提供します。また、職員やボランティアなどによる学習相談の充実をはかります。
- (2) ITによるネット・コミュニティの充実
ITの活用により、「いつでも・どこでも・だれでも」各地区の学習情報を収集し学習活動に参加できる、効果的な学習方法を充実します。
- (3) 学習する個人、団体のネットワーク化支援
地域の指導者と新たな学習・交流活動づくりを進めるために、人と人、人と団体、団体相互のネットワーク化を進め、学習活動の活性化や地域づくりにつなげます。

2. まちづくりにつなげる学習事業システムの構築

- (1) 学習成果の活用とシステムづくり
市民の学習成果が、さまざまな個人のキャリア開発や地域でのボランティア活動、団体活動などに活かせるよう、人と地域がつながるための支援と仕組みづくりを進めます。

- (2) 現代的課題に対応した学習の充実
市民一人ひとりが地域の課題を認識し、共有し、解決に向けて行動していくために、まちづくり、環境、職業能力向上などの「現代的課題」に対応した学習機会や、各ライフステージに対応した学習機会を充実させながら、学びによる人づくり・地域づくりを進めます。
- (3) 市民・行政の協働型事業の推進
活力ある地域をつくるためには、個人・団体・企業等が主体的に地域課題や生活課題の解決に関わることが重要なことから、市民・団体・事業者と行政の真のパートナーシップ形成により、新しい時代のまちづくりを進めます。

3. 学び続ける環境の整備

- (1) 生涯学習推進のための環境充実
生涯学習センターにおいて、市民が主体の推進組織と行政の横断的な推進組織をより充実するとともに、関係機関・団体との連携や連絡調整を進めます。
- (2) 生涯学習関連施設の整備・充実
日常的に利用される学びの場や専門性の高い学びの場など、関連施設を総合的・計画的に整備し、その機能を充実することで、利用者・利用層を拡大させます。

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
生涯学習の環境づくりに関する満足度	50.3%(H15)	60%(H22)
【説明】生涯学習の環境づくりの取組状況を示す指標です。 現状値は、市民意識調査(H15)の設問「生涯学習への満足度」で、普通以上と回答した市民の割合です。目標値は、現状値から約10%向上をめざします。		
学習成果を地域づくりに活かしたい市民の割合	65.2%(H17)	70%(H22)
【説明】生涯学習事業の成果を示す指標です。 現状値は、事業参加者へのアンケート調査で「成果を地域づくりに活かしていきたい」と回答した人の割合です。目標値は、現状値から約5%向上をめざします。		

*IT……「Information Technology」の略で、コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す語。「情報通信技術」ともいう。

第2節 学校教育

現況と課題

◆現況

近年、少子高齢化や国際化、高度情報化、核家族化、価値観の多様化など社会は大きく変化し、これにもない、教育制度も大きな転換期を迎えています。

こうした中、本市では、生涯学習の基礎づくりを担う学校教育において、「主体性をもってたくましく生きることができる資質や能力」を身に付けた子どもをはぐくむとともに、家庭・地域と連携し、安全で安心な教育環境づくりの推進につとめています。

【主な取り組み】

- 市独自のドリル「学びノート」を全児童生徒に配布し、一人ひとりの「読む力」「書く力」「計算する力」などの基盤となる学力の定着をめざしています。
- 学校教育の一層の活性化と、少人数指導を実現するため、教員資格を有する人材を教員補助として配置しています。
- ひきこもりや犯罪被害、非行問題等に適切かつ迅速に対応するため、警察OBや心理士、学生ボランティアなどを派遣し、児童生徒、保護者、学校を支援しています。
- 学校内外での事件や事故を防止するとともに、学校を取り巻く地域の防犯体制の強化をはかり、安全で安心できる教育環境を整備しています。
- 所沢市学校版環境ISOプログラムの取り組みが全国的に評価され、埼玉県の小・中学生用環境副読本の中で事例紹介されました。
- 所沢小学校や北小学校、松井小学校で、学校図書館・体育館・校庭を、「放課後の居場所づくり」の場として児童に開放しています。

◆課題

- 新たな教育課題への対応や教育内容の充実
- 教職員の資質向上と意識改革
- 地域や学校の状況に応じた教育環境の整備
- 通学区域の適正化
- 個に応じた支援活動の充実
- 幼児教育推進体制の確立
- 若年齢化する生活習慣病の予防
- 学校と地域が連携した危機管理体制づくりの推進
- 地域の人材活用と学校開放の推進

基本方針

- 情報化、国際化、環境問題など社会の変化に自ら適応し、心豊かでたくましく生きる子どもをはぐくみます。
- 個性を重視し、豊かな人間関係を築くことができるように、教育内容や指導方法の充実をはかります。
- 教育環境の充実や地域との連携により、安全・安心な特色ある学校づくりを進めます。

■児童・生徒数の推移

単位：人

年度	小学校	中学校	合計
平成10	18,652	9,593	28,245
11	18,330	9,085	27,415
12	18,169	8,756	26,925
13	18,038	8,604	26,642
14	18,159	8,419	26,578
15	18,193	8,194	26,387
16	17,983	8,026	26,009
17	18,124	7,931	26,058

資料：学校教育課



幼稚園・小学校・
中学校の教育活動

計 画

1. 教育内容の充実

- (1) 確かな学力の定着
生涯学習の基礎づくりとして児童生徒一人ひとりが、自ら学び自ら考える力を高めることができるよう、少人数指導の充実をはかるなど指導の創意工夫につとめます。
- (2) 豊かな心をはぐくむ教育の充実
自然体験や生活・職業体験、読書活動を重視し、自主性や協調性を養い、豊かな心をはぐくむための教育活動を推進します。
- (3) 国際理解教育の充実
国際化社会の進展に対応し、自国や他国の文化への理解を深めるため、国際理解教育を展開するとともに、英語の基礎能力を培うため、英語指導助手の活用をはかります。また、帰国児童生徒などの言語指導や生活適応への支援の充実につとめます。
- (4) 情報教育の充実
高度情報化社会の進展にともない、コンピュータや情報通信ネットワークの整備を推進し、積極的に情報を活用できる能力育成につとめます。
- (5) 環境教育の充実
学校版環境ISOプログラムを実践し、持続可能な循環型社会の実現をめざす環境教育を充実します。
- (6) 人権教育の充実
人権意識の高揚をはかり、人権についての正しい理解を深め、さまざまな人権問題を解決しようとする幼児児童生徒を育成します。
- (7) 特別支援教育の推進
障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善克服するための適切な教育的支援を推進します。



教員補助員による
少人数指導

(8) 教職員の資質向上

教職員の研修体制をより一層充実させ、資質の向上をはかります。また、外部評価の充実や人事評価制度の導入により、地域や保護者のニーズに応える教育が実践できるよう、教職員の意識改革をはかります。



市オリジナルの学びノート(国語、算数、数学)

2. 教育環境の充実

- (1) 施設の整備と機器の充実
安全かつ快適な教育環境を確保するため、校舎等の建替え、耐震化並びに維持補修を進めます。また、余裕教室などを活用し、特色ある教育活動の実践につとめるとともに、教育効果を高めるため、教育機器類の整備をはかります。
- (2) 特色ある学校づくりの充実
幼児児童生徒や地域の特性を活かし創意工夫のある教育課程づくりにつとめるとともに、校長を中心に全職員の経営参加による特色ある学校づくりを行います。また、教育活動や学校運営の状況について積極的に説明し、校内に加えて学校評議員等による点検評価を行い、その結果の公表につとめます。
- (3) 通学区域の適正化
児童生徒数の減少傾向の中で、学校規模に配慮し、通学区域の再編成などを行い、適正化につとめます。
- (4) 異校種間連携の推進
指導内容を柔軟に工夫し、校種を越えた学校間の連携を推進します。

3. 相談活動の充実

- (1) 教育相談の充実
一人ひとりの幼児児童生徒が積極的に自己を活かすことができるよう、各学校や幼稚園、市立教育センター、健やか輝き支援室における相談活動の充実につとめます。

(2) 生徒指導の充実

児童生徒と教師との好ましい人間関係の中から児童生徒への理解を深め、家庭・地域・学校の連携を密にしながら、生徒指導の充実につとめます。

(3) 進路指導の充実

児童生徒の勤労観・職業観を育てるキャリア教育を充実し、主体的に進路を選択できるよう保護者と連携しながら進路指導の充実をはかります。

(4) 就学支援体制の充実

障害のある幼児児童生徒の就学相談を支援するために、障害児就学支援委員会や各学校の校内就学支援に係る委員会の充実につとめます。



所沢産ほうれんそうを使用した給食

4. 幼児教育の振興

(1) 幼児教育推進体制の確立

幼児期にふさわしい教育の機会を確保するため、保護者や地域社会と連携し、幼児教育推進体制の確立をはかります。

(2) ふれあいや個性を大切に教育の充実

家庭や地域、保育園や小学校など他機関との連携を深めながら、身近な自然や環境とのふれあいを重視した教育や、幼児の個性・特性を尊重した指導・教育内容の充実につとめます。

(3) 体力の向上

各学校の体力向上推進委員会を充実させ、健康増進と体力向上をはかり、生涯にわたり運動に親しむ児童生徒の育成につとめます。

5. 健康な児童生徒の育成

(1) 学校保健の充実

児童生徒が、健康な生活を送るために必要な知識や技能を習得できるよう、健康教育を充実させるとともに、健康診断による健康管理の充実につとめます。

(2) 学校給食の充実

望ましい食生活の形成につながる魅力ある学校給食を行うとともに、所沢産食材の使用の推進、施設や食器類の整備につとめるなど、学校の特色を活かした給食の充実をはかります。

6. 安全・安心な学校と地域づくりの推進

(1) 学校と地域が連携した危機管理体制づくりの推進
学校と地域が連携した危機管理体制を整え、学校内外での事件や事故を防止するとともに、地域の防犯体制を強化し、安全で安心できる学校と地域をつくります。

(2) 地域との交流・連携の推進

児童生徒の国際交流やボランティア活動などを促進し、家庭・地域・学校間の交流・連携と学校開放の充実につとめます。

(3) 専門教育機関との連携の推進

高等学校・大学・県教育機関などと協力し、小・中学校への人材派遣や施設の相互利用を促進します。

(4) 放課後の児童の居場所づくりの推進

放課後、学校を積極的に開放し、児童の居場所づくりにつとめます。

5年後の目標

指標名	現状値	目標値
学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	児童84.6% 生徒82% (H17)	児童89.3% 生徒84.3% (H22)
【説明】 「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標です。現状値は、市立教育センターが実施するアンケート調査で「学校が楽しい」と回答した児童(小5)、生徒(中2)の割合です。目標値は、過去の調査で最も高い数値です。		
不登校児童・生徒の割合	1.37%(H16)	1.07%(H22)
【説明】 「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標です。現状値は、所沢市の全児童・生徒数に占める不登校児童・生徒の割合です。目標値は、不登校に関する全国平均値です。		

学校の四季



入園式



林間学校



入学式(小)



水泳教室

春

夏

秋

冬



入学式(中)



体育祭



合唱コンクール



卒業式

特色ある教育活動を通して心豊かでたくましく生きる子どもをはぐくみます

第3節 青少年育成

現況と課題

◆現況

青少年期は、さまざまな体験を通して心身の調和のとれた成長をはかる大切な時期です。しかし、近年、地域社会・家庭における教育力の低下、情報の氾濫や社会全体のモラルの低下などにより、青少年を取り巻く環境が蝕まれています。

このような状況の中、本市では、青少年の健全な育成を推進するため、地域・家庭・学校が連携し、社会環境の改善をはかる活動や青少年リーダー育成を推進しています。

【主な取り組み】

- 青少年が非行に巻き込まれることがないよう、NPO法人ガーディアンエンジェルス^{*}に委託し、所沢駅周辺を中心に声かけ運動を行っています。
- 青少年に有害な看板、ポスターなどの撤去や、有害図書が青少年が購入しないよう、各地域の青少年を守る会、PTA、販売店などと連携して、健全育成の環境づくりにつとめています。
- 子ども会やサマースクールなどの異年齢集団での生活体験や、ボランティア、自然体験を通じ、青少年の社会参加やリーダーの育成につとめています。

◆課題

- 地域・家庭・学校が連携した青少年育成の推進
- 青少年が参加する活動の充実
- 青少年リーダーの育成
- 青少年と家庭に対するサポート体制の充実
- 非行防止活動の強化
- 青少年の仲間づくり、居場所づくり

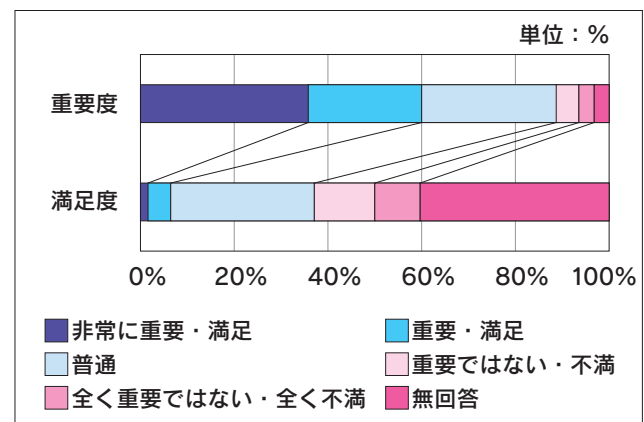


街頭での青少年への声かけの様子
(日本ガーディアンエンジェルス所沢支部の活動)

基本方針

- 「三つ葉の提言」をもとに、地域・家庭・学校が連携して、青少年の健全育成を進めます。
- 青少年がいきいきと健やかに成長するよう、自然体験やボランティア活動などの青少年活動を充実します。
- 地域に青少年の居場所をつくとともに、リーダーとなる青少年を育成します。

■青少年の健全育成対策に関する市民意識 (対策の重要度と満足度の比較)



出典：市民意識調査



地域環境浄化活動の様子
(有害広告の除去)

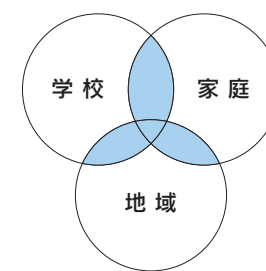
計 画

1. 地域・家庭・学校の連携による青少年育成

- (1) 地域・家庭・学校が連携した青少年育成活動の推進
地域・家庭・学校がその役割を再認識し、「三つ葉の提言」に掲げる「四つの行動目標」に基づき、連携して青少年育成を推進します。
- (2) 青少年育成団体等への支援
子ども会育成会や各種青少年育成団体等の活動を支援するとともに、団体間の連携と交流を進めます。また、研修や情報提供を充実し、地域住民の参加機会の拡充します。
- (3) 青少年を取り巻く環境浄化の推進
風俗店の捨て看板や有害図書等の自動販売機などのない、青少年が健やかに育っていける地域環境づくりを、地域住民と協力しながら進めます。

「三つ葉の提言」

所沢市青少年問題協議会提言
(平成17年3月)



地域・家庭・学校の三つの領域が重なるところを三つ葉にたとえ、地域でも家庭でも学校でも、どこでも子どもたちに声をかけ、あいさつし、時には注意し、大人が自信を持って教育力を高めるために「四つの行動目標」を掲げ、できることから始めようとするものです。

「四つの行動目標」

- 家庭のあり方をもう一度見つめなおそう
- 地域社会の持つ「地域力」を高めよう
- 地域・家庭・学校の連携を深めよう
- 子どもの生きる力を信じて夢を与えよう

2. 青少年へのサポート体制の整備

- (1) 青少年活動の充実
ボランティア体験や自然体験、社会体験等、実際の体験を重視した青少年活動を充実し、青少年の「生きる力」をはぐくみます。
- (2) 青少年の居場所づくり
中高生が、充実した時間を過ごし、いきいきとした毎日を送っていけるよう、放課後の居場所づくりを進めます。
- (3) 青少年リーダーの育成
異年齢集団の活動などを通じて、これからの地域づくりのリーダーとしての自覚を持った青少年を育成します。
- (4) 青少年とその家族への相談・指導の充実
青少年やその家族が気軽に相談し、指導を受けることができるよう、各相談機関と連携し、相談・指導業務を充実します。



子ども大会の野外ゲーム
(ペットボトルのボウリング)



サマースクール

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
“青少年の居場所”に対する満足度	49.1%(H17)	60%(H22)

【説明】 青少年の健全育成のための「青少年の居場所づくり」の成果を示す指標です。現状値は、児童館など放課後の“居場所”を利用する青少年が、アンケート調査に「また来たい」と回答した割合です。目標値は、現状値の約10%向上をめざします。

^{*}日本ガーディアン・エンジェルス……1979年、ニューヨークで結成され、現在世界11ヶ国50の都市で活動する国際的犯罪防止NPOの日本支部。1996年より活動開始。繁華街における青少年への声かけや怪我人の応急救護活動、環境美化活動などを市民の立場から行う。所沢市では市との委託契約に基づき平成15(2003)年度から所沢支部が活動中。

第4節 社会教育

現況と課題

◆現況

近年、地域や家庭において、人間関係の希薄化や教育力の低下などにより、さまざまな問題が発生しています。こうした中、市民一人ひとりが心豊かに生きることができる社会の構築が重要となっています。

市では、家庭・学校・地域の連携を強化し、情報の共有化や人的交流の促進に取り組むことにより、地域における教育力の向上をめざしています。また、ライフスタイルの多様化により、さまざまな学習機会の場が求められています。こうした取り組みを推進するため、社会教育施設が市民の主体的な学習を支援し、地域の拠点として機能するよう整備しています。

【主な取り組み】

- 家庭教育学級の開催を小中学校区の運営委員会に委託し、平成16(2004)年度は、48学級実施しました。(参加者2,122人)
- 博物館の準備的活動として、平成17(2005)年度には「ふるさと所沢」を再発見する体験学習会等、ワークショップ(全7回)を開催しました。
- 公民館の事業は、企画準備会や実行委員会など市民参加で運営されています。平成16(2004)年度は、11公民館で332事業が開催され、延べ40,603人が受講しました。
- 平成17(2005)年度からコンビニエンスストア図書取次事業を開始しました。また、電算システムを更新し、携帯電話からも図書の検索・予約等ができるようになりました。

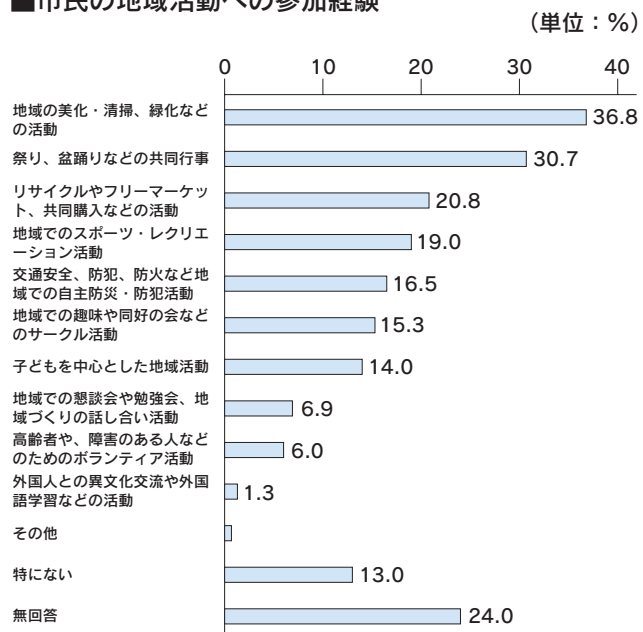
◆課題

- 家庭の教育力の向上
- 地域の教育力の向上
- 人権意識の高揚
- 地域コミュニティに対応した学習機会の充実
- 公民館における地域づくりの機能充実
- 自主的な学習活動の支援
- 市民との協働による博物館設置の推進
- 社会教育施設の整備
- 図書館サービスの向上
- 各関係団体の連携

基本方針

- 市民一人ひとりの基本的人権が尊重される中で、「心豊かに生きる」ことをめざした学習の充実と支援に取り組めます。
- 市民の主体的な学習の支援及び家庭・学校・地域の連携を促進し、地域の教育力向上を進めます。
- 地域で学びあい、学習した内容を地域に活かすことによって、人と地域をはぐくむ社会教育を進めます。
- 社会教育施設の機能を充実するとともに、市民との協働を進めます。

■市民の地域活動への参加経験



出典：市民意識調査(H15)



子どもたちの体験活動(地域の方から学ぶ)

計 画

1. 人と地域をはぐくむ社会教育の推進

(1) 家庭・地域の教育力の充実

親の学習や交流の機会を拡充するとともに、企業やPTAなど関係団体の協力も得ながら、家庭・学校・地域の連携を強化し、家庭・地域の教育力の充実をめざします。

(2) 地域コミュニティに対応した学習の充実

国際化や少子高齢化など、現代的課題の中でも特に人間関係の希薄化が著しい地域コミュニティに対応した学習機会を充実します。

(3) 地域とともにあゆむ公民館活動の充実

住民相互の交流・地域づくりの役割を拡充するため、地域課題を捉えた事業を充実し、コミュニティ活動の拠点施設としての機能を充実します。

(4) 人権教育の推進

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国籍市民などをめぐる人権問題について、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」等により、正しい理解や認識を深めるための取り組みを進めます。

(5) 読書活動の推進

豊かな情操や感性をはぐくむため、図書に触れる機会を増やすなど、読書の奨励をします。特に、子どもたちの図書利用が増えるような取り組みを進めます。

(6) 社会教育関係団体やボランティア活動の支援

地域のコミュニティ活動を推進するため、連携・交流・研修の機会を充実し、活動を積極的に支援します。また、それぞれの活動を側面から支援し、コーディネートする機能を充実します。

2. 社会教育機関の充実

(1) 社会教育施設の機能充実

社会教育施設において、学習情報を収集・蓄積するとともに、施設間の連携をさらに深め、市民の主体的な学習を支援します。

(2) 博物館の設置推進

市民との協働により、「ふるさと所沢」の自然・歴史・芸術・文化・産業・技術など、さまざまな分野での研究活動や資料を蓄積し、生涯学習推進の拠点の一つとして、まちづくりに寄与する博物館の設置を進めます。

(3) 公民館の整備・充実

多様化・高度化する市民の学習ニーズに応えるため、公民館施設の整備を進めるとともに、効果的な情報提供につとめ、市民主体の多様な学習の場づくりを進めます。

(4) 図書館サービスの向上

多様化する利用者ニーズに応え、施設設備の充実を進めるとともに、市民との協働によるサービスの向上に取り組めます。また、蔵書・資料とレファレンス^{*}機能の充実を進め、教養の向上や実学のために、地域の学習や情報の拠点としての機能を拡充します。

(5) 視聴覚ライブラリー機能の充実

映像資料や視聴覚機器を活用した教育活動を支援し、ITなどさまざまなメディアの教材を調査・研究するとともに、整備を進めます。

(6) 生涯学習関連施設との連携

児童館や保健センターなどの施設と情報や事業面での連携を強化します。また、活動拠点の拡大のために、さらに学校施設の地域開放を進めます。

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
学習成果を地域づくりに活かしたい市民の割合	65.2%(H17)	70%(H22)
【説明】生涯学習事業の成果を示す指標です。数値は、事業参加者へのアンケート調査で「成果を地域づくりに活かしていきたい」と回答した人の割合です。目標値は、現状値から約5%向上をめざします。		

*レファレンス……図書館などで、知りたい情報が収録されている文献を探して調べもの手伝いをするサービス。

第5節 市民文化

現況と課題

◆現況

市民文化は、市民によって創造され、次代に継承されていきます。また、人と人をつなぎ、心豊かな市民生活を築くうえで重要な役割を果たしています。しかし、生活様式の変化や都市化の進展などにもとまらぬ、失われつつある伝統文化や文化財、自然、歴史資料等も少なくありません。

本市では、こうした市民文化を永く後世につなげるため、文化財の保存・活用につとめるとともに、市民一人ひとりの自主的で主体的な芸術・文化活動を支援しています。また、市民文化センター「ミューズ」を拠点として、さまざまな芸術・文化に親しむ機会を提供しています。

【主な取り組み】

- 「所沢市文化祭」「市民文化フェア」「所沢で第九を」「所沢市吹奏楽祭」など、市民や団体のさまざまな芸術・文化活動を支援しています。
- 「子ども写生大会」「こどもルネサンス（文学・合唱・まんが等）」などを実施し、子どもが芸術・文化に触れ、発表する機会の創出につとめています。
- 平成16(2004)年に、中心市街地再開発で取り壊し対象となった2件の歴史的建造物を、将来の復元に備えて解体・保存しました。
- 埋蔵文化財調査センターでは、市内で出土した文化財を公民館などで巡回展示するとともに、天然記念物であるミヤコタナゴの人工増殖に取り組んでいます。

◆課題

- 市民の自主的な芸術・文化活動の支援
- 市民文化センターの活用促進
- 身近で芸術・文化に触れる機会の拡充
- 文化財の保存と活用の推進
- 市民の文化財保護意識の向上
- 郷土芸能継承者の育成支援
- ミヤコタナゴ保護環境の整備
- 市立博物館の設置推進



「所沢で第九を!!」
(市民文化センター「ミューズ」での市民活動)

基本方針

- 地域の文化的資源を活用し、個性や特長を活かしたまちづくりを進めます。
- 市民の自主的な芸術・文化活動を支援し、所沢らしさを活かした魅力ある市民文化の創造を進めます。
- 文化財の保護・活用に取り組みます。
- ミヤコタナゴの保護や生息環境の調査を進めます。



商家の解体保存（灰屋呉服店・元町）

計 画

1. 市民文化の創造

- (1) 横断的な文化政策の展開
地域づくりの根幹である市民文化を醸成するため、本市のあらゆる施策に文化的な視点を取り入れます。
- (2) 文化事業の充実・奨励
身近で親しみのある文化事業を充実するとともに、市民が自主的に開催する事業を奨励します。
- (3) 市民文化の熟成
市民の自主的な文化活動を、地域づくりに活かす取り組みを進めます。
- (4) 児童文化の創造
子どもたちの夢や希望、情操、感受性をはぐくみ、心豊かな児童文化を創造します。

2. 芸術・文化活動の振興・発信

- (1) 芸術・文化に触れる機会の拡充
気軽に芸術・文化に触れることができるよう、学校や公民館など市民に身近な場所で、演奏会や公演会、展覧会などを開催します。
- (2) 芸術・文化活動の奨励・支援
市民の自主的な芸術・文化活動を奨励し、その活動を支援します。
- (3) 芸術・文化情報の発信
芸術・文化に関する情報について、インターネットや生涯学習情報紙などを通じ、広く市民にお知らせします。
- (4) 市民文化センターの活用
芸術・文化活動の発表や文化情報交換の場として、市民文化センター「ミューズ」の活用を進めます。

3. 文化財の保存・活用

- (1) 文化財の調査収集・市民への紹介
埋蔵文化財や歴史的建造物、その他文化財の調査に取り組みるとともに、重要なものは指定・登録し、また、消滅のおそれのある文化財は記録保存の措置を行い、市民への紹介を進めます。
- (2) ミヤコタナゴの保護・生息環境の調査
所沢市における唯一の国の天然記念物ミヤコタナゴを保護するとともに、自然の川に放流するための生息環境の調査に取り組みます。
- (3) 郷土芸能継承者の育成支援
地域に伝わる郷土芸能の伝承と振興をはかるため継承者の育成を支援するとともに、伝統芸能発表会を開催し、市民へ紹介する機会を充実します。
- (4) 歴史的建造物の保存・活用
詳細な記録が必要な歴史的建造物について、計画的に実測調査を進めるとともに、必要な場合には建築部材等の保存・活用を進めます。
- (5) 文化財保護意識の向上
あらゆる機会を通して、文化財が市民共有の財産であるとの認識を深め、文化財保護意識の向上に取り組みます。
- (6) 歴史資料の収集・公開
郷土の歴史への理解と関心を高めるよう、歴史的価値のある古文書・公文書などを収集し、公開します。
- (7) 博物館活動との連携
市民の自主的な学習活動や学校教育などにおいて、郷土の文化財や歴史、自然資料の活用を進めるため、博物館活動と連携します。

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
芸術・文化に触れる機会があると感じる市民の割合	69.2%(H17)	75%(H22)
【説明】 市の芸術・文化振興の取組状況を示す指標です。 現状値は、市民意向調査(H17)の設問で、日常生活の中で「芸術・文化に触れる機会がある」と感じる人の割合です。目標値は、現状値から約5%向上をめざします。		

第6節 生涯スポーツ

現況と課題

◆概要

スポーツ・レクリエーション活動は、生涯にわたって健康で文化的な生活を営み、豊かな人間関係をはぐくむために重要な役割を果たしています。また、長寿化、余暇時間の増大とともに、健康や体力づくりに対する人々の関心も高まっています。

本市では、市民一人ひとりが健康で豊かな地域社会を実現するため、「いつでも・どこでも・だれでも」ライフスタイルに応じ、スポーツ活動などに参加できる環境づくりを行っています。

【主な取り組み】

- 学校の校庭や体育館などの開放事業により、平成16(2004)年度には73施設で507,704人がスポーツ活動に参加しました。
- 所沢市西地区総合型地域スポーツクラブが自立運営するための支援を行っています。
- 市民のスポーツ需要に対応するため、平成16(2004)年6月に所沢市民体育館、平成17(2005)年5月に狭山湖運動場、同年7月に総合運動場野球場をそれぞれ整備しました。
- 市民が生涯を通じてスポーツを実践することにより健康で豊かな生活が送れるよう、平成18(2006)年3月に「所沢市スポーツ振興計画」を策定しました。

◆課題

- 生涯継続していくことができるスポーツ環境の整備
- スポーツ施設利用に関するPRの充実
- 年齢や体力に応じたスポーツの振興
- スポーツを通じた交流の推進
- 各種スポーツ教室や競技大会の充実
- スポーツ指導や助言ができる人材の確保・育成
- スポーツ施設の整備の推進
- 民間スポーツ施設等の地域開放の促進



市民体育館で開催された国体・バレーボール競技

基本方針

- 生涯継続していくことができるスポーツ環境の整備を進めます。
- 市民の体力向上をはかります。
- 指導者の育成に取り組みます。
- スポーツ施設を充実します。

市内のスポーツ施設

名称	所在地
市民体育館	並木5-3
市民武道館	中富1,614-2
総合運動場	並木5-3
弓道場	西新井町17-14
北野総合運動場	北野3,076
北中運動場	北中4-774-2
滝の城址公園運動場	城23-1
狭山湖運動場	上山口1,233
林運動場	林1-278
新所沢地区体育館	緑町1-8-3
富岡地区体育館	北岩岡116-3
柳瀬地区体育館	城964-8
小手指地区体育館	北野2,056
三ヶ島地区体育館	三ヶ島5-1,639-1
北野公園市民プール	小手指町4-3

資料：生涯スポーツ課



毎年恒例の所沢シティマラソン

計 画

1. 生涯スポーツ環境の充実

- (1) 生涯継続していくことができるスポーツ活動の振興
地域のスポーツ団体・サークル・総合型地域スポーツクラブなどの育成支援とともに、スポーツに関するさまざまな情報提供を通じて、生涯を通じたスポーツ活動に参加する機会を充実します。
- (2) 各種スポーツ事業の充実
ニュースポーツを取り入れたレクリエーション的なスポーツから競技スポーツまで、幅広い要望に応じたスポーツ教室等の開催を進めます。
- (3) スポーツ交流の推進
スポーツを通じた国際交流の推進をはかるとともに、市内に本拠を置くスポーツチームとの交流を進めます。
- (4) 市民の体力向上
地域、学校との連携をはかり、すべての市民の体力向上を進めます。
- (5) 健康体力づくり運動の推進
「体力づくり市民会議」の充実をはかるとともに、体育指導委員をはじめ、さまざまな関係団体と連携し、各種スポーツ大会の開催を進めます。



健康体操のつどい

2. 指導者の育成確保

- (1) 指導者の育成
学校体育や市民のスポーツ・レクリエーション活動に不可欠な質の高い指導者の養成・確保につとめ、効果的な指導を進めます。
- (2) 指導者研修の充実
各種の指導者講習会を開催するとともに、指導者の質の向上をはかるための研修会を充実します。

3. 生涯スポーツのための施設充実

- (1) 競技スポーツ施設の整備・充実
航空記念公園野球場など、公式試合の開催に適したスポーツ施設の整備を進めます。
- (2) 地域スポーツ施設の整備・充実
地域に根ざしたスポーツ活動を進めるため、地区体育館や運動場の整備・充実をはかるとともに学校施設(校庭・体育館)の開放を進めます。
また、大学や民間と連携をはかりながら、スポーツ施設の遊休時間帯における地域への開放に取り組みます。

所沢市を本拠地とするプロスポーツチーム



プロ・バスケットチーム「埼玉ブロンコス」



プロ野球チーム「西武ライオンズ」

5年後の目標

指標名	現状値	目標値
スポーツを楽しんでいる市民の割合	61%(H17)	70%(H22)
【説明】生涯スポーツ振興の取組状況を示す指標です。現状値は、市民意向調査(H17)の設問で、「日常生活の中で、何らかのスポーツ、レクリエーションを楽しんでいる」と回答した人の割合です。目標値は、現状値から約10%向上をめざします。		

*総合型地域スポーツクラブ……学校や職場など所属の枠を超え、地域に開かれたスポーツをめざし、地域住民が自主的に運営する新しいスポーツ活動の仕組み。
*ニュースポーツ……競技性があまり強くなく、一般の人々が楽しめることを目的とした軽スポーツの総称。

生涯学習施設一覧

●小学校 中学校 公民館・図書館・スポーツ施設等

●小学校

地区	施設名	表示番号
所沢	所沢小学校	1
	清進小学校	2
	明峰小学校	3
新所沢	北小学校	4
並木	伸栄小学校	5
	中央小学校	6
	美原小学校	7
	並木小学校	8
富岡	西富小学校	9
	中富小学校	10
	富岡小学校	11
吾妻	荒幡小学校	12
	南小学校	13
	北秋津小学校	14
山口	山口小学校	15
	泉小学校	16
	椿峰小学校	17
小手指	小手指小学校	18
	上新井小学校	19
	北中小学校	20
	北野小学校	21
三ヶ島	宮前小学校	22
	三ヶ島小学校	23
	若狭小学校	24
	林小学校	25
松井	安松小学校	26
	牛沼小学校	27
	若松小学校	28
	松井小学校	29
柳瀬	東所沢小学校	30
	柳瀬小学校	31
	和田小学校	32

●中学校

地区	施設名	表示番号
所沢	所沢中学校	1
新所沢	向陽中学校	2
並木	中央中学校	3
	美原中学校	4
富岡	富岡中学校	5
吾妻	南陵中学校	6
山口	山口中学校	7
	上山口中学校	8
小手指	小手指中学校	9
	北野中学校	10
三ヶ島	狭山ヶ丘中学校	11
	三ヶ島中学校	12
松井	東中学校	13
柳瀬	安松中学校	14
	柳瀬中学校	15

●……小学校

●……中学校

●……公民館・図書館・スポーツ施設等

●公民館・図書館・スポーツ施設等

地区	施設名	表示番号
所沢	中央公民館	1
	図書館所沢分館	2
新所沢	新所沢公民館・地区体育館	3
	生涯学習センター	4
新所沢東	新所沢東公民館	5
並木	所沢図書館	6
	並木公民館	7
	市民体育館・総合運動場	8
	市民文化センター	9
富岡	富岡公民館・図書館富岡分館・地区体育館	10
	市民武道館	11
	北中運動場	12
吾妻	吾妻公民館・図書館吾妻分館	13
山口	山口公民館	14
	図書館椿峰分館	15
小手指	小手指公民館・地区体育館	16
	小手指公民館分館	17
	埋蔵文化財調査センター	18
	北野総合運動場	19
	北野公園市民プール	20
三ヶ島	三ヶ島公民館・地区体育館	21
	図書館狭山ヶ丘分館	22
	狭山湖運動場	23
	林運動場	24
松井	松井公民館	25
	弓道場	26
柳瀬	柳瀬公民館・図書館柳瀬分館・地区体育館	27
	薄の城址公園運動場	28

